

#554 ざっくりダニエル書 5  
ネブカドネツアル王の回心に見る  
全人類へのメッセージ  
ダニエル書4章

2023/08/24

東住吉キリスト集会 高原 剛一郎 氏



皆さま、こんばんは。ざっくりダニエル書は2月からスタートしたのですが、8月でまだ4章。『ゆっくりダニエル書』に変えようかという感じですが、今日は本当にざっくり見ていきます。

私は16日間、主に関東で講演旅行をして来ました。今週帰って来たんです。その旅行で、ある私立大学で准教というか、教授ではないけど先生をしている方が、わざわざ面会に来られました。この10年間、毎年その大学の入学試験の試験官をしている。試験官の仕事は問題用紙を配り、試験中カンニング防止で見回り、最終的に答案を回収することです。

今はITの色んなもので外部から情報を取らないように警戒して机間巡視、見回りするんですが、毎年100人に1人くらい、名前を書き忘れていた受験生を見つける。「あ、この子、問題解くことに専念してるけど、一番肝心な名前書いてない！」名前書いてなかったら、全問正解でも零点です。だけど、試験官は言っちゃダメなんですよ。「ナマエ…」とか「ホア〜ン」とか言ってあげたいのはヤマヤマだけど、それ言うとアウト！言えない。言えないからどうするか。その人の前にじっと立ってられないので、色んな所に移動しながら、その人に念力を送るといふか、念力といふか「気づいてくれよ！」

私の友人も「絶対合格したに違いないのに、名前書いてなかったからダメでした。医学部2浪」という話を、個人的に聞いたことがあります。悔しかったでしょうね。合格発表の前に大学から「あなたは落ちています。名前を書いてなかったから」と言われてね。親子でもう目を見合わせたって。

そんな悲劇見たくない。なんとか気づいてくれ！気づいてほしい！  
だけど、口に出して「名前」と言っただけはダメなんですねえ。ああ伝えたい…。  
回収した時、その人はどうだろうかと見送る。

「『赤の他人の受験生が名前書き忘れた。俺の知ったこっちゃない』とはならない。血の繋がりはないけど、一生懸命解いてる受験生を見て、その努力が全部ムダになるとしたら、ひと声掛けたくて掛けたくて仕方ない。それが人間というものだ」と彼は言うんですよ。

ましてや、私たちが重大なことに気がつかないばかりに、一生懸命生きているにも拘らず、永遠のいのちを受け損なうことになるなら、私たちの将来を案じておられる神様は、言葉を掛けてくださるに違いない。今日はそんな箇所です。  
自分の人生から完全に創造主である神を除外している独裁者に、神が夢を通し、預

言書を通し、あらゆる方法を通して超自然的に、その人が気がつくように、覚醒させようと働きかけてくださっている箇所なんですね。

私も人生を振り返る時、この歳になると、鳥の目で自分の人生を見ることができるようになります。若い時にはもうやらかしましたよ。やらかしてやらかして。でも振り返ると、そのやらかしたことが、重要なことに気がつくためのきっかけになっていったというのがたくさんあるんです。

ある時には事件を通して、ある時には良い映画を通して、ある時には聖書を通して、クリスチャンの証しを通して、聖書は、私を創り、私を愛してくださった創造主がおられること、その創造主は私の幸せを願っておられること、私に永遠のいのちを与えるための準備を全部終えておられること、私が望むなら今すぐ救われることを語っている。その旧約聖書版と言えるものが**ダニエル書 4章**です。

**ダニエル書 4章**は、バビロンを大帝国にのし上げたネブカドネツアル王が死ぬ1～2年前に書かれた書です。

**ダニエル書**はほとんどをダニエルが書いてますが、**4章**は語り手が途中で代わるんですね。**1～18節**まではネブカドネツアル王の独白です。**19～33節**まではダニエルが解説します。**34節**からは、またネブカドネツアル王が語り手となる。

ネブカドネツアル王がその晩年の晩年、もう後1年か2年で息を引き取ろうとしている時に、「私個人の身の上で起こったことだが、どうしてもすべての人に聞いてもらいたい。いや聞かせるべきだ」という使命感をもって語っているんです。

しかもすごいのは、その内容は“恥”。

立派な人の伝記は悪いことはあまり書きませんよ。特に権力者は、自分の恥の部分は隠すんじゃないですか。しかしネブカドネツアルは、自分の人生の最後の最後に起こった実に恥ずかしい出来事を包み隠さずに書き、それが聖書に載っている。

なぜ聖書に載っているのか。答えは簡単です。

ネブカドネツアルは、自分で自分の言葉を書き記すことはしません。

昔の偉い人は口述だけして、筆記は側近にさせたんです。

ネブカドネツアルには多くのブレンがいたけど、飛び抜けて信頼していた知恵袋、側近中の側近は、彼がベルテシャツアルと名付けた預言者ダニエルです。

**1節**のことばを見ると、聖書は聞き続けることが大事だなと思います。

## **ダニエル書 4章**

### **1a ネブカドネツアル王から、全地に住むすべての民族、国民、言語の者たちへ。**

バビロン帝国は非常に大きくなったので、バビロン人（カルデア人）だけでなく、征服された人々も彼の領民になり、色んな言葉を話す人たち、色んな民族、国民がいました。私の大帝国の中に住んでいる全員に聞かせなければならない。

聞かせるために、神が私にこのような経験を与えたのだという確信を持つてる。

## **2いと高き神が私に行われたしるしと奇跡を知らせることは、私の喜びとするところである。**

いと高き神。異邦人は自分たちの神を持ってました。

でも、いと高き神、Higher Being (ハイヤービーング) なる神、最高神、神の中の神。これはユダヤ人も使うことがあります。旧約聖書の中では、異邦人がイスラエルの神を呼ぶ時に使う呼び名。その使い方がほとんどなんです。

いと高き神が私に行われたしるしと奇跡。今までたくさんありましたね。

ダニエル書 2 章では帝国の像の夢を見るというしるしがあり、ダニエルだけが解き明かしができました。3 章ではユダヤ人の若者シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴが燃え盛る炉の中に投げ込まれたのに、第 4 の者がエスコートしてるので焦げる臭いもしなかったという奇跡がありました。

しかしここでは、私に行われたしるし。私に直に行われたしるしをぜひ語りたい。

## **3そのしるしのなんと偉大なことよ。その奇跡のなんと力強いことよ。その国は永遠にわたる国。その主権は代々限りなく続く。**

旧約聖書がかねてから預言しているメシア的王国、やがてメシア／救い主が人類を統治する時が来る。その国は代々限りなく続く。

バビロンが限りなく続くのではなく、メシア／ユダヤの国の神が代々限りなく続く。これは極めて聖書的なんです。

バビロン市には 50 以上の偶像神殿がありました。にも拘らず、ここで彼は非常に聖書的なことを言っています。なぜ言うことができたのか。

これは明らかに、ダニエルによる感化です。本当の神は人が造った神ではない。偶像ではない。物質ではない。金銀宝石で造られてるんじゃない。金銀宝石を創った方。全宇宙を創った方。私たちを創った方。私たちの起源である方。ダニエルは事あるごとに、大王ネブカドネツアルに聖書の神を伝えてるんです。聞いていくうちに、少しずつ少しずつ、聖書の神が理解できるように変えられていくんですね。

皆さんにお勧めしたいことがあります。聖書のメッセージを 1 回聞いて分からなくても、諦めないでください。繰り返し聞くことが大事です。聞き続けることが大事です。なので、私も前に言ったことと同じことを言うかもしれませんが、それも大事なので、ぜひ聞いていただきたい。

さて、ネブカドネツアルは 7 つの時の間発狂します。

その前に、ネブカドネツアルがどんな人物だったのかについて、バビロンの歴史を、建国からネブカドネツアルの時代まで、ざっとご紹介しましょう。

(地図を見ながらの説明だが、画面に地図が出ない。)

今から 2700 年くらい前、中東を支配していたのはアッシリア大帝国。

首都はニネベです。下の方のチグリス・ユーフラテス川をずっと下るとバビロンがありますが、その頃は、バビロン国はアッシリアに従属していました。

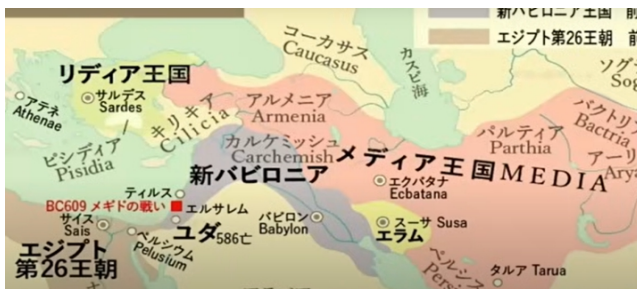
約 300 年間、バビロンはアッシリアの一つの地方自治体、属州にすぎなかったんですね。アッシリアはバビロンを治めるために、バビロン人（カルデア人）を総督として雇って支配しました。その人物がナボポラッサル（BC658～BC605）です。



ナボポラッサルは元々バビロンにいましたが、アッシリアの手先として、様々な権力をバビロンで代行していたんですね。しかし、アッシリアの政治は非常に残酷だったと言われています。同胞が苦しんでいるのを見て、アッシリアに仕えるのがほとんど嫌になり、「私がバビロンの王だ！」と勝手に独立宣言して、アッシリアに反乱を起こしました。



新バビロニアの初代王がナボポラッサルです。彼はメディアを誘って連合軍を造り、アッシリアに入ってニネベを陥落させ、アッシリアを滅ぼしました。



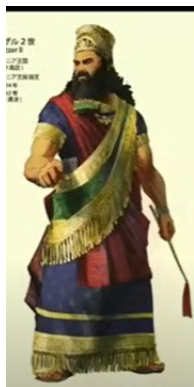
アッシリアが滅んだ後、アッシリアは 4 つの国に分裂します。

①最大はメディア王国で、今のイラン高原。②隣が新バビロニアで、今のイラク辺り。③リディアは今のトルコ辺り。④エジプト第 26 王朝。これらは元々アッシリアでした。

最大の国はメディアで、この段階では、新バビロニアとメディアはまだ仲が良い。

一番仲が悪いのは、新バビロニアとエジプト第 26 王朝です。

なぜ仲が悪いのか。国境線で接してるんですね。つまり、シリアとパレスチナの覇権を巡って、いつもチャンチャンバラバラやってて、エジプトは新バビロニアを攻略するために、アッシリアの残党を支援してけし掛けるという戦略を取ったんです。



この反乱を終わらせるためには、エジプトにぎゃふんと言わせなあかん。そこで、ナボポラッサル王は、バビロン軍のほとんどを自分の息子に任せて戦争させました。

それが、今日見るネブカドネツアルⅡ世です。

彼は親父さんから託されたバビロンの大軍を率いて、メディアと一緒にエジプトを叩きました。これをカルケミシュの戦いと言います。世界史を取っていた方は「ああ、あれか！」聖書と関係あったんですね。

なぜメディアはバビロニアに協力したのか。

ネブカドネツアルの奥さんがメディア王国の王女なんです。

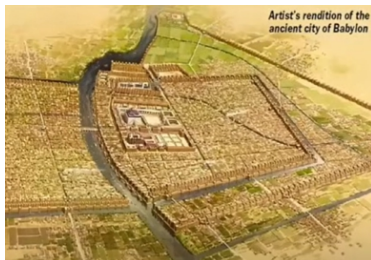
政略結婚成立だったので、この時点ではメディアとバビロンの仲は良かった。

そして、カルケミシュの戦いでエジプトに圧勝しました。紀元前 605 年です。しかし、良いことばかり続いたのではない。エジプトと戦っている最中、ナボブササルが突然死。そこで、ネブカドネツアルは急遽バビロンに引き返しました。



バビロニア王国の中のバビロン市は、ユーフラテス川とチグリス川が最も接近しているところに建てられました。土地が非常に豊かだったこともあります。ネブカドネツアルの時代よりも 2000 年前に、既にここに町があったんです。

その町を建てたのがニムロデです。旧約聖書の初期に出て来る人物ですね。ニムロデが造ったバベルの塔を再建するのがネブカドネツアルで、ここで大建築に取り掛かって行きました。



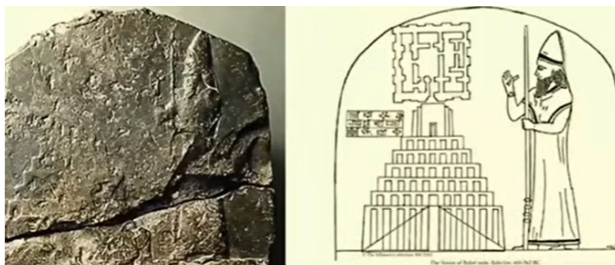
これは模式図で、当時のバビロンの航空写真を基にイラスト化したものです。北（上）から南に流れている通路みたいなのがユーフラテス川です。これをまたぐ形で、四角い城壁に囲まれている町がバビロン市。バビロンの城壁の周りにも、ユーフラテス川から引いて来た水が、掘りのように流れ込んでいます。

特にユーフラテス川の東半分（左半分）に、大きな建物がいくつか並んでいます。そこに、おそらくこうだったのではないかというものがあって、それがバベルの塔。



これはブリューゲルが描いたバベルの塔ですが、これをモデルにしたスタジオジブリの映画があります。『天空の城ラピュタ』。言われてみたら、そっくりの形。ただ、バベルの塔は宙に浮いてません。あれはジブリの空想物語なんですね。

バベルの塔を描いた画家のほとんどは円錐形に描いているんですが、それは画家の想像なんです。実際のバベルの塔はどんなものか。



ネブカドネツアルの時代の遺跡が発掘されました。それが左ですが、見にくいので浮き彫りにしたのが右です。左側に階段状のものがありますが、それがバベルの塔です。全部で 7 段。

一番上に窓のようなものが付いてますが、これは神殿です。バベルの塔の最上階 7 階には、偶像の陳列はありませんでした。そこにあっただのはベッドだけ。ある時マルドゥークが天から下りて来て、その霊がこのベッドに横たわって安息する。マルドゥークに降臨してもらうための神殿。バベルの塔は天文観察でもあるんですが、一番てっぺんにあるのはマルドゥーク。

考古学者たちの解説を聞くと、ここで注目しなければならないのは、長い勺を持っている髭のおじさんがいますね。この人がネブカドネツアルⅡ世です。彼がバベルの塔を再建しました。

問題はバベルの塔と同じ高さ、いやネブカドネツアルがちょっと高いんですよ。つまり、ネブカドネツアルは「バベルの塔のマルドゥークを拝め」と言いながら、実は「それを造った私は神に等しい」という考えの持ち主なんです。やがて、自分を拝ませるようなことをしますね。



バベルの塔は、実際はこのような形ではなかったか。これも7段で出来てて、一番上にあるのが天文台兼ベッドが置いてある所。バベルの塔は二ヨキ二ヨキしたのではなく、もっとしっかりした建物ではないかと言われています。



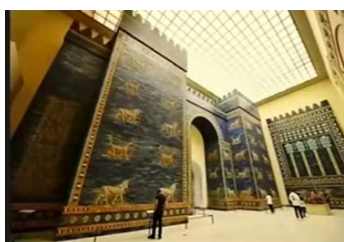
バベルの塔の隣にあったのは空中庭園です。ネブカドネツアルの奥さんは、メディア王国の王女でした。メディア王国はイラン高原にあります。イラン高原は緑豊かですが、バビロンは砂漠地帯。奥さんが「ここは殺風景で寂しい」とホームシックになるんですね。

それでネブカドネツアルは、人工的に最上階まで水が上がるような灌漑設備を造り（ユーフラテス川の水がいくらでもある）、空中に浮かんでいるように見える緑の山・空中庭園を造ったんです。左の緑色がユーフラテス川で、その上のらせん状にとぐるを巻いているような建物がバベルの塔です。



これは今のバビロンの遺跡ですが本物ではなく、バビロンに昔建っていたイシュタール門のレプリカです。バビロンは現在国連によって世界遺産に登録されていて、発掘は進んでいるけど、バビロン全体の1.5%しか発掘されてません。これがドンドン発掘されたら、すごい発見があるんじゃないか。

しかしイラク戦争の後、ずーっと殺伐とした場所になっていて、考古学者たちは中々入れません。これは現イラクのバビロンに、観光のために人工的に造った所なんです。



本物のイシュタール門はこれです。ペルガモ博物館にあって、描かれているのはバビロンの神々や聖獣です。



これはバビロンの模式図です。上が北で下が南。北から南にユーフラテス川が流れていて、それをまたぐようにある四角い横長の部分がバビロン市。バビロン市を守るために、外側に造った大きな城壁を“強い壁”と言います。これは山川出版から取りました。

赤丸が2つあって、下がマルドゥークの神殿。その上がエテメンアンキ。このエテメンアンキが、おそらくバベルの塔。

エテメンアンキのすぐ上に南王宮があり、その城壁の外側に北王宮があります。ネブカドネツアルは主に南王宮にいたのではないかと。ある人は「北王宮を私の家と呼び、王の宮殿と言う時は南王宮を指したのではないかと」言っています。

さて、このように広大なバビロン市は、労働力をどうやって賄っていたのか。バビロンは元々アッシリアに支配されていたので、支配体系・統治体系がアッシリアに似てるんです。アッシリアは他の国をぶっ倒した時、その国民をアッシリアに引っ張って来て、労働力としてこき使います。バビロンも同じようにしました。



これはバビロン捕囚になるユダヤ人を描いた絵です。右上の炎上している建物がエルサレム神殿。その下では、バビロンの兵士が、歯向かおうとしているユダヤ人の兵士に、まさに剣を振り下ろして殺そうとしています。

真ん中では、ユダヤ人男性たちは後ろ手にくぐられ、女性たちは泣き、赤ちゃんたちは捨てられています。

すぐ後ろには、引っ張って行こうとしているバビロンの兵士たちがいますね。

ユダヤ人なのにバビロンに連れて行かれるバビロン捕囚は、全部で4回起こります。色んな歴史書では3回と書いていますが、聖書では4回です。

第1回バビロン捕囚で連れて行かれたユダヤ人の中に、ダニエルたちがいました。



これは今日見るダニエル書4章の場面です。

起立して天を指している人物はダニエル。

玉座には座っているけど、非常に憂いを秘めた表情でうなだれているのがネブカドネツアル王。

彼は人生の絶頂期に、とんでもない夢を見たんです。

「地に大きな木があった。その木は地の果てからも一目で見えるくらいに、強くて高くて天に届くほどだった。

ある時、神のことばが実現することを見張っている天使が下りて来て、『この木を切り倒せ！倒れたらそのままにして、7つの時を過ぎ去らせなさい』と言った。」この意味が分からない。色んな知恵袋に質問したけど、だれも答えられません。



そんな中、ダニエルだけが「王様、もしあなたが悔い改めないなら、今は絶頂でも倒されます。倒されて7つの時、動物のようになってしまいます。牛のように草を食べ、人間社会から追放され、発狂したように変わってしまいます。」

下の絵は、ある画家が描きました。

髪は伸び放題。爪は猛禽類の爪みたいでしょ。足も。



人の形をしているけど、動物のようになって7つの時の間さまよう。

しかし、それが過ぎると、もう一度人間の心が与えられて、悔い改めるということなんですね。

これがネブカドネツアルという人物です。

彼はすごい成功者でした。

昨日、ワグネルのプリゴジンが死んだでしょ。自家用ジェット機で十数人の側近とサンクトペテルブルクからモスクワに向かっている時、突然失速して垂直に落ち、地面に激突して炎上。急に何かを避けるようにアップしたかと思うと、ゴーンと下がって行った。それがカメラに収められてるんですよ。

昨日、バイデン大統領が、これについて定例記者会見で質問を受けました。

「これは一体どういことでしょうか。」バイデンさんは「皆さんに発表できる情報はまだ持っていない。が、ロシアで起こる出来事は、背後にプーチンしかいないことがほとんどだ。」これって、プーチンがやったと言っているのと同じやんか。

この1年半の間、プーチン大統領に批判的なことを言って殺されたのは、彼で40人目。今回は彼以外に10人死んでるから50人ですよ。

気に入らなかつたら、即黙れ。黙れじゃなくて…。

プリゴジンは窓がないホテルにしか泊まらなかったと言われてます。

なぜなら、殺された39人は、ほとんど窓から落ちてるんですよ。

プーチンが権力者の座に着いて23年です。23年間だれも逆らわない。逆らえない。

皇帝のように神のように振る舞ってきた人物。そんな状態が23年も続いて、しかも謙虚な人格で留まるのは、ほとんど不可能じゃないかな。

ところで、宝くじに当選したら、振り込んでくれるのはみずほ銀行です。

みずほ銀行は第一勧銀が合併した銀行だから。

高額当選したら、『今日この日から読む本』という冊子が渡されます

これは1億円以上です。20万円くらい当たっても、そんな本読まなくていい。

1億円以上の高額当選者にこの本が渡されて、「まず落ち着いてください。もし借金があれば、返済を先にやってください。」

努力して稼いだのではないお金が急に転がり込んで来ると、中々冷静でいられない。で、つい言うてしまう。すると、見たこともない親戚がおすそ分けをもらいにやって来るそうです。そんなん言わへんかったらええやん。密かに「ひっひっひっ」で。

だけど、言わない人でもバレてしまう。高額のお金をもらってしまおうと、つい着る物・腕時計・靴が変わるんです。ゴム製の雪駄みたいな履いてたのが、ロレックスとかブランドものとか、ネジ式なのに100年間狂わない時計とか。

見る人が見たら「スゴいな。何かあったな。」

今までは、回転寿司で2千円で腹いっぱいになって幸せだったのに、「もう回らない寿司屋に行こう」とか言って1万円の寿司を食った時、美味しいとは思うけど、2千円の5倍の脳内エンドルフィンが出るかということ、そうじゃないでしょ。

「大したことないやん。3万円の寿司行こう。」そうやって段々崩れていく。

アメリカの3大スポーツはアメフト、野球、バスケットボール。

サッカーは入ってません。この中でバスケットボールが一番高収益です。

プロバスケットボールNBAの平均収入は9億円。平均ですよ。

スターになると60億円とか70億円とか。彼らは現役時代には使う時間がないけど、引退すると6割の選手が数年で破綻してしまうんです。金銭感覚が麻痺する。

ダウンタウンの松ちゃんが（知り合いちゃうけど）、「オレはちゃんと働いて金を得るということを、今しないとダメなんじゃないか」と20代から言い出すんです。ちゃんと働いてるやん。いや、テレビに出て人を笑わせて1億2億の金が入ってくると、金銭感覚が分からなくなるから、朝ラッシュの電車に揉まれて、嫌な客にも頭下げて、汗水垂らして16万みたいな、これでないと金銭感覚が身に付かん！多くの芸能人が若くして大金が入った時、すぐ蕎麦屋とか焼き肉屋とか営業する。そして失敗する。そんな人ばかりじゃないけど、自動的にずっと金が入って来ることになったらおかしくなる！

自分を正気にさせないといけないと気づいたみたいですね。

話を戻します。23年間独裁者で、人を殺すことを何とも思わなくなっているとすれば、ネブカドネツアルは何年間王様をやったと思いますか。

大バビロン帝国の王を43年ですよ。43年間、だれも彼に盾突かない。彼が言うことは何でも通る。

ネブカドネツアルを見て「コイツ傲慢や！」と思うけど、私の人格で彼の立場に43年間おったら、4年3か月くらいで、とんでもなく鼻持ちならない人間になってしまっている気がしますねえ。しかし、彼はある意味で、神の恵みを受けるんです。

**4 私ネブカドネツアルが私の家で心安らかに過ごし、私の宮殿で繁栄を極めていたとき、**

**5 私は一つの夢を見たが、それが私を恐れさせた。私の寝床での、様々な幻想と頭に浮かんだ幻が、私をおびえさせた。**

私の家は北王宮、私の宮殿は南王宮ではないかと、ある人は言っています。

彼は絶頂期で、怖いものは何もない。俺に逆らうヤツはだれもいない。

その時に嫌な夢を見ます。実際に目に見える世界で、バビロンに対抗できる国はどこにもありませんでした。怯える必要はないんです。

ないんですが、夢が警告を与えたんですね。

**6 私は命令を下し、バビロンの知者をみな、私の前に連れて来て、その夢の意味を告げさせようとした。**

**7 呪法師、呪文師、カルデア人、占星術師たちが来たとき、私は彼らにその夢のことを話したが、彼らはその意味を私に告げることができなかった。**

「夢の内容を当てろ」なら「それはできません」となるでしょ。ダニエル書 2 章みたい。ここでは、どんな夢を見たのかを話してます。

だけど、彼らはその意味を私に告げることができなかった。なぜできない？

デタラメでも何か言えるんじゃないですか。占い師みたいなもん、何なと言えるんじゃないですか。この前、元占い師で今クリスチャンの女性が「当たりますよ。」

「大丈夫ですか。もうやってないでしょうね。」「もうやってません！」

これ、ほんまにテクニクですね。運が悪くなると色々失敗する。怪我したり事故に遭う。「明らかに運が悪い」となるけど、そうではなくて疲れてるからです。疲れると注意力散漫、不注意になるから事故する。怪我する。しくじるんですよ。だから、寝るのが一番。占いに行くくらいなら寝てください。

この占星術は今の新聞や雑誌に載っているのじゃなくて、天文学の意味があります。そんな人たちが適当な意味づけをして、ああだこうだと言ってればいいのに言わなかった。その夢があまりにも悪い内容だったから。

独裁者って可哀そうですよ。耳に痛いことを言ってくれる人が誰もいない。

これは、どう解釈しても悪い意味にしか取れない夢なんですよ。

なので、ネブカドネツアルの機嫌を損ねるんじゃないかと思って、「王様、大きな木があってぶっ倒れるという夢ですよ。その大きな木を皆が目目している。その木は王様しかいないです！」

でも、その木が倒れて 7 年間発狂するって、どうやって良い意味に解釈できますか。下手に耳の痛いアドバイスをして逆恨みを買うよりも「私たちにはできません」と。

皆さん、耳に痛いアドバイスをしてくれる人、いてはりますか。僕はいますよ。

家に帰ったら…とか色々あるでしょ。皆さんだってそうじゃない？

これは幸せなことですよ！ただ、もうちょっとソフトに言っていただくと…。

でも、彼にはいてない。

**8 最後にダニエルが私の前に来た。彼の名は私の神の名にちなんでベルテシャツアルと呼ばれ、彼には聖なる神の霊があった。私はその夢を彼に話した。**

今日のタイトルは『ネブカドネツアル王の回心に見る』としたんですが、ちょっと不透明なんです。

ここを見ると、私の神の名にちなんでベルテシャツアル。

ベルテシャツアルのベルは、バビロンの神様の名前なんですよ。

私の神の名にちなんでというのは、彼は創造主／ユダヤの神を信じながらも、またここで偶像の神を恐れているのではないか、と読むこともできる。  
あるいは、これから起こる事件の前のことを指して、後はすっかり心が変わったのかもしれない。だから不透明。  
彼が最後どうなったのか、天国に行ったと確実に言えるのかどうかは分かりません。

## **10 私の寝床で幻が頭に浮かんだ。私が眺めていると、見よ、地の中央に木があった。それは非常に高かった。**

聖書では、木は非常に偉大な人物や大きな集団・国を意味することが多いんです。旧約聖書で最初に出て来たたとえ話はどこかご存知ですか。士師記9章ですね。当時ユダヤ人には王がなくて「王様が欲しい！」と言ったのを、こうたとえています。

木がいっぱい集まって来て、オリーブの木に「私たちの王様になってください！」  
「いや、オリーブ油を提供せなあかんから、それはできません。」  
次にイチジクの木のところに行って、「私たちの王様になってください！」  
「いや、美味しい実を人々に提供するのが私の使命だから、王様はできません。」  
それでぶどうの木のところに行って、「私たちの王様になってください！」  
「いや、ワインを造らんとあかんから、王様にはなれません。」  
最後に茨のところに行って、「私たちの王様になってください！」  
「ほな、やりますわ！」

最初の3つの木は良いものをもたらす木ですが、茨は何も良いものを持って来ない。最悪の人物を王にするというたとえです。  
木は王や偉大な人物や集団にたとえられることが多いんです。

新約聖書でも、異邦人のことを野生種のオリーブの木と言います。また、口先だけの名目だけのキリスト教会のことをからし種の木。大きくなって枝を張って、そこに鳥が巣を作るとか。  
聖書の常識で見ると、地の中央に木があったというのは絶対に王様です。

## **11 その木は生長して強くなり、その高さは天に届いて、地の果てのどこからもそれが見えた。**

## **13 寝床で頭に浮かんだ幻の中で見ていると、見よ、一人の見張りの者、聖なる者が天から降りて来るではないか。**

ここから3つのポイントでお話ししたいと思います。  
聖書のことばは必ず実現します。  
必ず実現するのを見張っている霊的な存在があります。神様のゴーサインが下りると即、神のプランを実行に移す“御使い”と言われる存在がいるんですね。  
それが、一人の見張りの者、聖なる者が天から降りて来るではないか。

皆さん、世界は徐々に徐々に変わるというより、一瞬で変わると思いませんか。

コロナ前とコロナ後で、ライフスタイルがどんだけ変わったか！  
ウクライナ戦争の前と後で、どれだけ航空運賃が上がったか！私には直撃ですわ。  
世界はパチン！と何か事件が起こったら、その前とは別世界に変わるんです。  
聖書は、艱難時代に入る前に14の前兆があると言っていますが、その前兆の前後  
で、世界はどんどん変わっていくんですね。

**22 王よ、その木はあなたです。あなたは大きくなって強くなり、あなたの偉大さは増し加わって天に達し、あなたの主権は地の果てにまで及んでいます。**

**23 しかし王は、一人の見張りの者、聖なる者が天から降りて来てこう言うのをご覧になりました。「その木を切り倒して滅ぼせ。ただし、その根株は、鉄と青銅の鎖をかけて、地に、野の若草の中に残せ。彼を天の露にぬれさせて、七つの時がその上を過ぎ行くまで野の獣と青草を分け合うようにせよ。」**

突然木が切り倒される。ネブカドネツアル王が、突然倒されると言うんですね。  
御使いたちによって聖書預言は必ず実行されます。実行に移すタイミングを見張っている天使がいます。その時が来て神様がゴーサインを出すと、即座に聖書預言は実現するんです。

実現の手前にいる人たちは「聖書に書いてあっても実現しないじゃないか！どんだけ長い間待ってるんだ！」いやいや、一瞬で来るんですよ。  
聖書の約束や預言が成就するのは何のためかということ、神こそ、神のことはこそ信頼に値するということを、私たちが理解するためなんです。

私は今回の講演旅行で、長野県の佐久（さく）に行きました。そこに私が尊敬する大先輩のキリスト伝道者がいて、10分ほど時間を取っていただいて、個人的にお話したんですよ。私はプーチンと習近平を、思いつくそ批判するじゃないですか。この方は「もし神様が導いてくださったら、私は習近平さんにもキリストの福音を伝えたい。彼も神様に愛されている人ですから。」この人格の違い！それを聞いても考えが変わらない私って、どうなっているのかしらって。

「神様は約束を守ってくださいますよね」という話の中で、「人も約束を守っていくのは幸いですよね」と。もちろん世の中には、約束を守らない人がたくさんいますよ。でも、「人が約束を守ることによる最大の価値は何か。その人が“約束を守る人だ”と認識されることだと思う」と言われたんです。

「約束を破る人だらけの中でバカ正直に守っていくと、損ばかりすると思うかもしれない。だけどほかの人が、『こんな状況の中でも彼は約束を破らない。彼は信用できる』という認識を持つことができる。これほど大きな宝は無いですよ。」名言が多い方なんですけど、今回はそれが残ったんですねえ。

皆さん、どんな人を信頼しますか。信頼を積み重ねてきた人を信頼するんです。1回2回の信頼じゃなくて繰り返し繰り返し。自分が不利になっても、した約束をひっくり返さない人。そんな人なら「この人について行っても大丈夫。」「この人のアドバイスは聞いてみよう」となる。

聖書は今まで百発百中、神が約束したことは全部実現して来ました。  
聖書のことばこそ、私たちが信頼して良いものですよ。  
このことばを信頼せずに、ほかに信頼できるものがあるのでしょうか。  
まだ実現していない約束は、見張る者が神のゴーサインを待ってるんです。  
ゴーサインが出たら、ことごとく実現します。

**24** 王よ、その意味は次のとおりです。これは、わが主、王に届いた、いと高き方の決定です。

**25** あなたは人間の中から追い出され、野の獣とともに住み、牛のように草を食べて、天の露にぬれることになります。こうして、あなたの上を七つの時が過ぎ行き、ついにあなたは、いと高き方が人間の国を支配し、これをみこころにかなう者にお与えになることを知るようになります。

**26** 木の根株は残せと命じられていますので、天が支配するということをおあなたが知るようになれば、あなたの国はあなたのために堅く立つでしょう。

**27** それゆえ、王よ、私の勧告を快く受け入れて、正しい行いによってあなたの罪を除き、また貧しい者をあわれんであなたの咎を除いてください。そうすれば、あなたの繁栄は長く続くでしょう。

ここで、聖書預言が与えられているもう一つの理由についてお話します。  
時々、聖書預言を宿命論で、「こう書いてあるから、こうなるしか仕方ない。」  
「滅びると書いてあるから、人間は滅びるしかない。それ以外に道はない。」  
そうじゃありません。

あなたが今のままで悔い改めなければ、やがて発狂状態になって獣の心になり、7つの時の間牛のように草を食べ、爪は鳥のように伸び放題になり、人間社会から追放され、露に濡れるような生涯になる。

それゆえ、王よ、私の勧告を快く受け入れて、正しい行いによってあなたの罪を除いてください。つまり、悔い改めてください。

悔い改めないならこの事が起こるが、神の恵みに信頼して悔い改めるなら、その実として当然罪が除かれ、この事は起こらない。

聖書預言はダメ出しオンリーで、人間にはこれ以外はないという宿命論ではなく、悔い改めを起こさせるために与えられたメッセージなんです。

みことばに触れて、「今までの私の在り方は間違っていました。神様に悔い改めます。私は神様と向き合って、神様の恵みにすがって、イエスを信じて主として受け入れます。」そうすれば、定まっている将来が変わるんですね。

人間には一度死ぬことと、死後に裁きを受けることが定まっている。

しかし、イエス・キリストを信じる者はそうではない。違う恵みが、救いが待っている。これが預言が与えられている意味です。

**29** 十二か月たって、バビロンにある王の宮殿の屋上を歩きながら、

**30** 王はこう言っていた。「この大バビロンは、王の家とするために、また、私の威光を輝かすために、私が私の権力によって建てたものではないか。」

これをどこで言ったんですか。王の宮殿の屋上です。  
王の宮殿の屋上から何が見えましたか。バベルの塔です。  
南の宮殿と北の宮殿・空中庭園も見えたでしょう。  
バビロンの中にある 50 の偶像の神殿や、マルドゥークの神殿も見えたでしょう。  
それに、バビロンの中には食料備蓄がなんと 25 年分ですよ。  
ヘロドトスによると、バビロンの周壁は高さ 90 メートル。凄まじい高度建築技術  
で、見渡す限り町全体が一つの大きな作品です。1000 ヘクタールあって、10 万人  
が住んでいたと言われていています。東京ディズニーランドの 20 個分。  
それが碁盤の目のように配置されて、素晴らしく美しい都になっている。

あまりにも素晴らしいので、バビロンを倒したペルシアの王キュロスもここを使いま  
した。ペルシアを倒したギリシアのアレクサンドロスもここに住みました。  
この素晴らしい都は「私が私の権力によって建てたものではないか。」傲慢。

### **31 このことばがまだ王の口にあるうちに、天から声があった。「ネブカドネツァ ル王よ、あなたに告げる。国はあなたから取り去られた。」**

私たちはへりくだらないと駄目です。私の場合は取り去られる国はないけど、それ  
でも、ささやかなものはあるじゃないですか。  
神がチャンスを与えて、神が行う能力を与えて、神が必要なスタッフを与えて、神  
が全部準備して、私を使ってくださった。

でも「違う！俺がやった！」その瞬間に落とされます。どんなに立派な人でも、傲  
慢になった瞬間に終わるんですね。高ぶりほど恐ろしい罪はありません。  
悪魔が誕生したのも、「私は神のようになろう」と考えた高ぶりからでした。

### **32 あなたは人間の中から追い出され、野の獣とともに住み、牛のように草を食べ るようになり、こうしてあなたの上を七つの時が過ぎ行き、ついにあなたは、いと 高き方が人間の国を支配し、これをみこころにかなう者にお与えになることを知る ようになる。」**

「俺がやった！」とここで言ったんですが、いつ言ったのか。  
調べたら、大英帝国にある粘土板に「ネブカドネツァル王の治世の第 37 年にエジ  
プトと戦争した」ということが書いてあるんです。  
ネブカドネツァルは生涯の中で計 3 回、エジプトと戦いました。  
3 回とも、エジプトそのものが滅びることはありませんでしたが、バビロンに手  
を出すと痛い目に遭うということで、しばらく収まって行く。

3 回目の時、ネブカドネツァル王の第 37 年が正しければ、彼は 66 歳です。  
ネブカドネツァル王は 29 歳で王になり、72 歳で死にました。43 年間王様です。  
66 歳の時にエジプトを討伐したんですね。討伐して帰って来たのが 67 歳とします。  
67 歳の時にこれが起こったとし、7 つの時が 7 年だと、74 歳になってしまう。

3 回目のエジプトを懲らしめる戦争でエジプトはギャフンとなって、ものすごくおとなしくなってるんですよ。オリエント世界を見渡した時、「バビロンに逆らうヤツはおらんなあ」と思って、ついこの言葉が出たんでしょう。でもそれだと、72 歳で死んだのに、2 年はみ出してしまわないですか。

7 つの時。ここはアラム語なんですが、ヘブル語に置き換えた聖書では “イッダニーン”。普通の 1 年 2 年の “年” じゃないんです。

ハーレイの聖書ハンドブックによると、“時” と訳されている言葉は “季節”。すなわち、7 つの季節が過ぎ去る。1 年に四季があるなら、7 つの時は 2 年未満。メソポタミアには季節は 2 つしかありません。夏と冬だけ。それだと、7 つの時は 3 年半。67 歳の時に 3 年半なら 70 歳と半年。それなら勘定が合うんです。これは、粘土板が正しいとするならばです。

何を言いたいかというと、これは作り話ではないということなんです。史実に基づいているんです。3 つの古文書を紹介します。

①紀元前 3 世紀のはじめ、バビロンにベロツソスという神官が現れました。彼はバビロン神殿の古文書を用いて、ギリシア語で『バビロン・カルデア史全 3 巻』を著したんです。

このバビロンの歴史が、ヨセフスが書いた『古代誌』とエウセビオスの『教会史』に、一部引用文として書かれているんですね。そこには「ネブカドネツアル王は最晩年に、非常に奇妙な病気に罹った」と出て来るんです。

②紀元前 2 世紀にアビデヌスという人の伝承で、「ネブカドネツアル王の晩年、彼は神のようなものに憑りつかれ、宮殿の屋根に上って叫んでいた」という記録が残っています。

③ヘンリー・ローリゼンソン卿…自分の字が読めない…ヘンリーという人が発掘したネブカドネツアル王の碑文には、「私（ネブカドネツアル王）は 4 年の間、心に喜びが一つもなかった。この間、バビロンの中に建物を一つも建てず、メロダク神を礼拝することを中止し、祭壇に犠牲を献げることを止め、運河を掃除することを怠った」と書いてあるんです。

いずれにしても、ネブカドネツアル王は晩年、ちょっと異様な期間を過ごしていた。この碑文によると 4 年なので、3 年半というのがちょうど該当するんじゃないか。つまり、聖書に出て来るこの記述は、聖書にしか出て来ない記事ではなく、歴史文書の中にも、裏付けるような、ほのめかしているようなことが出て来る。やがて、考古学でもっと新しい遺跡が発見されるなら、より明確になると思います。聖書の預言はこれからも成就しますが、今まで成就したことの記録も正確であり、信頼に値するものなのです。

最後のポイントです。実は 33 節まではダニエルが話者／語り部として語っていますが、34 節からはネブカドネツアルの独白に戻るんです。

**34** その期間が終わったとき、私ネブカドネツアルは目を上げて天を見た。すると私に理性が戻ってきた。私はいと高き方をほめたたえ、永遠に生きる方を賛美し、ほめたたえた。その主権は永遠の主権。その国は代々限りなく続く。

**35** 地に住むものはみな、無きものと見なされる。この方は、天の軍勢にも、地に住むものにも、みこころのままに報いる。御手を差し押さえて、「あなたは何をされるのか」と言う者もない。

**36** ちょうどそのとき私に理性が戻り、私の王国の栄光のために、私の威光と輝きが私に戻ってきた。私の顧問や貴族たちに求められて、私は王位に戻り、こうして絶大な権威が私に加えられた。

神が何かをしようとされる時、「あなたは何をされるのか」と言う者もない。これは旧約聖書の引用です。旧約聖書はヘブル語で書かれているのに、なぜ彼は引用できるのでしょうか。ダニエルから聞いていたと考える以外、説明がつかないんですよね。

しかし、聞いているけど、人生が思いのままに行っているので頭の中の知識止まり。それがこっぴどい目に遭うことによって、この国は私の力ではなく、天の神が一時的に私に託したものにすぎない。真にあがめられるべき方は、いと高き方だ。

**37** 今、私ネブカドネツアルは、天の王を賛美し、あがめ、ほめたたえる。そのみわざはことごとく真実であり、その道は正義である。また、高ぶって歩む者をへりくだらせることのできる方である。

この変化はどこから起こったのでしょうか。天に目を向けることで始まったんです。動物と人間の違いは、目を天に向けることができるかどうかです。豚って上を見ることができないんですって。

ある方のお話をして終わりたいと思います。

今回の伝道旅行中に YouTube を見ている方が来られました。お父さんが日本人でお母さんがイタリア人。なので、小さい時からイタリアンのママの味を知ってる。日本の醤油味で育ったシェフが、大きくなってイタリアで料理の修行したんじゃないくて、生まれた時から本場イタリアのママの味。ずーっと舌で学習してる。

彼の叔父さん（お母さんの弟）が、イタリアのレストランで3年間修業して帰って来て、ある出資者によって六本木に店を出しました。ディナーコース10万円。3か月先まで予約取れないんですよ。10回10万円ちやいますよ。1回10万円。評判が評判呼んで、テレビや食べログに何回も出るんです。あっという間に店の権利を出資者から買い取って、20代でフェラーリ2台。言うときますけど、ミニカーちやいますよ。本物。飛ぶ鳥を落とす勢いで、なんぼでもお金が入って来る。日本語ができるイタリア人。本場の味。六本木。場所もいい。イケメン。それで謙遜であり続けるって、難しいですよ、若い時。

ある時から、「自分はこうなりたい、こうしたい、店をこれだけ出したい」という

願いが叶えば叶うほど、不満が膨らんで来たんです。普通は願いが叶えば満足するけど、彼は願いが叶うほどに腹が立って来る。不満がたまってくる。願いが叶うとはいえ、スタッフを雇ってるし、色んなお客が来るし、やってたら嫌なこと起こるでしょ。

でも、右肩上がりでも何でもうまく行くと「俺がスゴイからだ！」それで、パーティーピーポーみたいな生活する。女遊びもいっぱいやって。自分がスゴイからうまく行く。うまく行かないことがたまにあると、全部ほかの人のせいにする。だって、スゴイ俺がスゴくないことをするわけがない。本気でそう思ってる。

だから、新しい問題やトラブルが起こっても、それは自分ではなくだれかのせい。うまく行けば行くほどドンドン不満が出て来て、自己中心・自我が肥大し、厨房に立たなくなるんです。日本人のシェフに任せて、1年半海外旅行して遊び歩いて。帰って来たら、乗っ取られてるんですよ。そらそうでしょ。会計も何も見ないで。

彼の家はカトリックなんです。イタリアだしバチカンでしょ。

「僕は家にいる時、1回も聖書読んだことがない。僕が知っているカトリックの人で、聖書読んでいる人はほとんどいない。」  
福音派の人でもほとんど聖書読めへん人がおる。って、そんなところで意気投合したら駄目なんですけど。

そんな時、昔私が語ったダニエル書のネブカドネツアルのことを聞いたんですね。「ああ俺や…。俺ナブッコや。」ネブカドネツアルはイタリア語でナブッコなんですか？めっちゃ可愛いやん。お茶漬けのアレはフジッコ。ナブッコ。

「俺はネブカドネツアルや！目を覚ますためにそういうことがあって良かった！恨みもない。裁判もしない。清々した。確かに裏切られたけど、裏切られるようなことを自分もしたし。酷いことをされた時の最大の仕返しは、自分が同じことをしないことだ。」

今は日本人クリスチャンと結婚して、新たに地方で店を出そうと準備しています。

その変化はどこで起こったのか。きっかけはYouTubeでしたが、彼の人生を導いて、救われるために必要なことを全部、彼に代わってしてくださった方に、天に目を向けたことなんです。

あの方が私にこんなことをした。コイツがこんなことを言った。そんな地面を見る生活ではなく、人間界から離れて天を見上げた。

### **34 その期間が終わったとき、私ネブカドネツアルは目を上げて天を見た。すると私に理性が戻ってきた。**

天はイエス・キリストがおられるところです。

自分の内側を見るのではなく、人と比較するのでもなく、救い主に目を留めるなら、そこにすべて答えが書いてあるんじゃないですか。

あなたの救い主としてこの世界に来てくださったイエス・キリストをぜひ信じて、本物の回心を得た人として新しい人生の中に入ってくださるよう、心からお勧めします。

☆\*: .. 0 ..:\*☆ ☆\*: .. 0 ..:\*☆ ☆\*: .. 0 ..:\*☆ ☆\*: .. 0 ..:\*☆ ☆\*: .. 0 ..:\*☆

引用文献；新日本聖書刊行会『聖書 新改訳 2017』いのちのことば社,2017